

## ルワンダから学ぶ 大切なもの～命・平和・教育～



### ●ルワンダの内紛、虐殺の「悲劇」から「希望」へ

戦争で心身共に傷ついたアフリカ ルワンダの子どもたちに学校教育を支援するために、日本とルワンダを行き来しボランティア活動をしている NPO 法人「ルワンダの教育を考える会」理事長永遠瑠・マリールイズさんの講演と交流会が、7月29日 アイーナで開催されました。

大学生・市民・県内外 60 名の参加者は、アフリカのルワンダについて学び、学校建設に努力されているお話を聞き、「教育」が希望と平和の礎となっていることに深い感銘を覚えました。

JICA 東北支部との共催で、宮城・秋田・青森からも参加。ルワンダに農業大学建設の夢を語る大学生など、コーヒー・紅茶の購入でルワンダの学校建設支援など国際理解と国際協力が深められたユニセフ講座でした。



### トワリ 永遠瑠・マリールイズさんのプロフィール

コンゴ生まれ。ルワンダで洋裁教師をし、1993年5月 青年海外協力隊カウンターパートとして福島文化学園で研修。

1994年2月ルワンダ帰国。4月7日内戦ぼっ発。コンゴ民主共和国難民キャンプに逃げる。

1994年12月家族で再来日し、研修生時代の友人の尽力で NPO 法人「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、ルワンダ共和国の首都キガリ市内に学校設立。命の尊さ、教育の大切さを訴える活動で全国を駆け回っている。

2011年3月、東日本大震災で被災、原発事故を経験。

【参考資料：ルワンダ共和国】

首都 キガリ  
人口 1137万0425人(2011/7推計)  
平均寿命 58.02歳(2011推計)  
民族 バンツール系フツ族84%  
 ナイル系ツチ族15%  
 ピグミー系トワ族1%  
言語 キニヤルワンダ語、仏語、英語(以上公用語)、スワヒリ語  
宗教 カトリック65%、原始宗教25%、プロテスタント9%、イスラム教1%  
面積 2万6338km<sup>2</sup>(四国の約1.4倍)  
1人当たり所得(GNI/人)460米ドル(2009)



ユニセフ会員や大学生、意見交換も活発に

交流会に参加したみなさん(中央がルイズ理事長)

●参加者の感想の抜粋紹介

- ・ルワンダという国、耳にしたことはありましたが地図上では全く分からず、今日初めて知ることができました。ルイズさんの努力あらためてすごいなあと感動しました。平和なくして教育なし、教育なくして平和なし。そのとおりだと思いました。教育は発展と平和へのカギ。  
ルワンダで学んでいる子どもたち一人ひとりに明るい希望がわくように願わずにはいられません。  
ルイズさんの日本語すばらしい!びっくりです。
- ・貴重なお話で、もう少し長く聴いていたい位でした。最後のビデオ(ユニセフ~すべての子どもに教育を~)は、とても良かったです。
- ・私は、大学卒業前にフィリピンのスラム街にボランティアで行った経験があります。国や地域で現状は違えど、貧困や飢えで苦しむ子どもがおり、食糧、医療、教育、職業訓練を求めていると感じます。  
今日のお話で改めて子どもに夢や希望を語ってもらう重要性を再認識させていただきました。
- ・インターネットや新聞、書籍でルワンダのことはある程度知っている筈でしたが、講座では多くのことを学ばせていただきました。女性の活躍がめざましく、女性国会議員の率が世界一である事も知り、素晴らしいと感じました。